

No. 1428

科学技術博フェア

— 東京・銀座 —

「人間・居住・環境と科学技術」をテーマに1985年に茨城県の筑波研究学園都市で開かれる国際科学技術博覧会。そのPRをかねた科学技術博フェアが4月12日、東京銀座で行われました。中川科学技術庁長官、土光博覧会協会々長がテープカット、続いてコンパニオンを代表して大西けい子さん、神谷由さんから花束が贈呈されました。このあとステージイベント「拍手タワーEXPO'85」が行われました。中川長官もさっそく挑戦。しかし一回目はあえなく失敗。三度目の正直、やっとマスクマークが飛び出しました。人類のあるべき姿を求めながら、科学技術の新しい方向を探求する「科学万博一つくば'85」。私たちひとりひとりの手でその理解の輪を広げ、成功させたいものです。

華麗なるバロック

— ルーベンスとその時代展 —

東京池袋の西武美術館ではいま、ルーベンスとその時代展が開かれています。17世紀ヨーロッパ各地に開花したバロック美術この壮大にして、流動感あふれる写実的な美術はベルギーのフランド地方で経済復興を背景に独自の展開を見せました。洗練された肖像芸術によって潮流を決定づけたヴァン・ダイク、市民生活を描いたヨルダース。そして宗教画などで多彩な才能を発揮したルーベンス。なかでも「美術史上最もエネルギッシュな画家」と呼ばれるルーベンスの華麗な筆致の作品の数々を見る人に大きな感銘を与えています。

仏大統領が来日

4月15日、東京・元赤坂の迎賓館で、フランスのミッテラン大統領の歓迎式典が行なわれました。あいにくの小雨でしたが、式典には、天皇陛下・皇太子ご夫妻が列席されたのをはじめ、鈴木首相以下閣僚ら多数が出席しました。儀仗隊を巡閲したあと、ミッテラン大統領は迎賓館で鈴木首相と日仏首脳会談を行い国際関係、日仏両国関係について話し合いました。フランスから初めての国賓、ミッテラン大統領夫妻を歓迎する宮中晩さん会は皇居の豊明殿で華やかに開かれました。くつろいだ様子で晩さん会に臨んだ大統領夫妻は、約3時間にわたって天皇陛下と歓談、フランス料理にシヤンソンの調べ、宮殿はフランス一色に包まれました。翌16日、ミッテラン大統領は国会を訪問。衆議院本会議で演説を行ないました。「今回の来日を相互理解の新しい出発点にしなければならない」と述べ、今後、日仏両国間の友好協力関係の増進を訴えました。